

マイナンバーカード取得の事実上の強制

健康保険証の廃止に 反対します!



医療機関からの声 /

現状の健康保険証での資格確認で何の不便もありません。これ以上複雑なシステムは、受付の混乱やシステムトラブルが起きることが目に見えています。どうか診療に集中させてください。

顔認証などの個人識別情報や身体情報、健康情報が国にどう利用されるかわからない。健康を人質にしたようなマイナンバーカード取得の推進には、強く反対します。

政府は今、マイナンバーカードを全国民に所持させるため、カードに保険証機能を搭載した「マイナ保険証」を作成することを国民に呼びかけています。こうしたなか政府は、全医療機関に今年度中にカード読み取り機器の設置義務化を、保険者（健康保険）に関しては、**2024年度に従来の健康保険証を廃止するとの方針を打ち出しました。**

国民からの声 /

意識不明になり救急医療を受けたとき、暗証番号が必要なマイナンバーカードでなく、紙の保険証でよかったとつくづく感じました。

保険証の廃止は、マイナンバーカードの強制。国民に有無を言わせぬ強権的なおしつけは、絶対に反対です。

個人情報保護を徹底せず、マイナンバーカードの事実上義務化は横暴。これまで膨大な個人情報が、政府の委託企業から流失しているのに。

法律では、カードの取得は国民の任意とされています。にも関わらず、保険診療という、生命・健康に関わるサービスの利用を阻害しかねない保険証廃止の方針を打ち出すことは、事実上のマイナンバーカードの強制取得であり、国民皆保険の理念に逆行するものです。

法律家からの声 /

保険証の廃止は、事実上マイナンバーカード取得の義務化。マイナンバーカードの取得は任意とする法令に抵触するのみならず、国民皆保険を掲げる中で保険証を廃止するのは違法です。

個人情報を番号に結びつけて一元管理しようとする「マイナンバー制度」には、個人情報の恣意的な収集や、情報漏えいの切迫した危険性が指摘されています。政府は強引なマイナンバーカード普及方針を撤回すべきです。少なくとも国会での審議をつくり、その是非について慎重に検討することを求めます。